

賛助会員だより

株式会社トランスウェア

抜群の操作感のWebメール環境とセキュアな ファイルの送受信をActive! mail 6と ファイル管理拡張オプションで実現 ～Webメール導入事例：～獨協医科大学～

デスクトップメールと変わらない操作感が最大の
導入の決め手



獨協医科大学では1,000人を超える学生、職員、医師などのメールコミュニケーション環境にWebメールシステムのActive!

mail 6を2009年10月から採用

しています。その経緯について医学情報センター教授の野上謙一氏は次のように振り返ります。

「医科大学という特性上、画像ファイルやPowerPointのファイルなど場合によっては10MB、20MBを超えるようなサイズの医学情報ファイルをやとりすることも多く、メールデータ量のひっ迫とファイル送受信時のセキュリティ対策も迫られていました。そこで、医学情報センターの移設を機にActive! mail 6とファイル管理拡張オプションの採用を決めました。」

「他のWebメール製品と比較してActive! mail 6の優れている点は、Ajaxの採用などでWebアプリケーションであることを感じさせない操作感を実現していることであり、デスクトップアプリケーションからWebメールへの移行を促しやすいことです」と医学情報センターの樋口幸紀氏は話します。

機密性が高く容量も大きい医学情報ファイルのセキュアな送受信を可能に

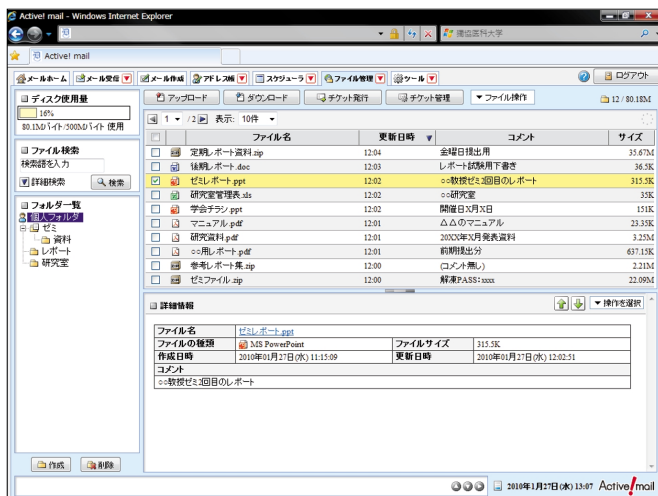
Active! mail 6の提供するセキュリティ対策について、同じく医学情報センター助教の山下真幸氏は次のように評価します。

「Webメールはブラウザ環境さえあれば、いつでも・どこでも利用できるのが最大の長特ですが、従来使用していた製品ではCookieの仕組みでIDやパスワードをブラウザ経由でPCに記憶されてしまうという懸念点がありました。この点、Active! mail 6ではIDやパスワードを記憶させないという認証情報の制御ができるところが非常に優れています。」

また機密性が高く、且つ大容量になりがちな医学情報ファイルの送受信にも、自学内のサーバー環境でファイル拡張管理オプションを導入することで対応しています。ファイル拡張管理オプションは、Active! mail 6のインターフェース上からWebサーバー上でのファイル管理と、メール添付をしないファイルの受け渡しを可能にするので、その利便性は大幅に向上しました。

「メールにファイルを直接添付する従来の方法に代えてファイル管理拡張オプションに任せることで、パスワード付きアーカイブファイルの生成を自動で行うことができるようになり、メール容量上限サイズを超えるようなファイルも安心して送信できるようになりました。さらに、ファイルのダウンロード回数・期限なども設定できるので、サイズの大きなファイルのアップロードや、期限をすぎたからの削除の手間からも解放されます。」

「また、自学内にサーバーを構築して導入していますので、第三者のファイル送受信サービスにファイルを預けるというセキュリティ上の心配もなく、情報の機密性を確保することができると考えています。」



問い合わせ先

株式会社トランスウェア

公共・文教営業部

TEL: 03-5540-0083

E-mail: gna-sales@transware.co.jp

http://transware.co.jp/